

当院での高齢者乳がんの臨床的特徴と治療実態

2020年4月1日から2024年3月31日までに乳がんと診断された、診断時65歳以上の患者さんとそのご家族の方

研究協力のお願い

日本医科大学多摩永山病院乳腺科では「当院での高齢者乳がんの臨床的特徴と治療実態」という研究を行います。この研究は、当科で2020年4月1日から2024年3月31日までに乳がんと診断された、65歳以上の患者さんを対象に、臨床的な特徴や治療の実態を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合は、下記問い合わせ先へお伝えください。また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問も下記の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

研究課題名：当院での高齢者乳がんの臨床的特徴と治療実態

研究予定期間：実施許可日～2024年12月31日

調査対象期間：2020年4月1日～2024年3月31日

研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 乳腺科 柳原 恵子

(2) 研究の意義、目的について

高齢者の乳がん治療に対する安全性を示すことができれば、治療方針決定の際の指標となります。特に75歳以上でどのような方が治療を安全に行うことができ、本来の日常生活を送ることが出来るかを明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2020年4月1日より2024年3月31日までに日本医科大学多摩永山病院乳腺科にて乳がんと診断された、65歳以上の患者さんの臨床情報や治療経過などを解析します。特に、65歳から74歳までの患者さまと75歳以上の患者さまの治療選択の違いや、75歳以上の患者様の手術の安全性についての検討を行います。

この研究は、患者さまの以下の情報を診療録から抽出して行われます。

情報：年齢、性別、身長・体重（BMI）、JCOG-PS、ADL（日常生活動作）、本人や家族の治療に対する希望、生活背景（独居、施設入所中など）、乳がんの進行度、家族歴、既往歴や併存疾患、内服薬、触診所見、血液検査所見、画像検査所見（マンモグラフィ、胸部X線画像、CT、PET-CT、乳房MRI、超音波検査）、心電図、呼吸機能検査、病理学的所見（組織型、核グレード、サイズ、エストロゲン受容体、プロゲステロン受容体、HER2、Ki67、リンパ節転移の有無）、化学療法の有無、使用薬剤や使用量、有害事象、手術術式、術後経過、入院期間、臨床的治療効果や病理学的治療効果（術前化学療法症例のみ）、治療後経過

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

担当者：乳腺科 柳原恵子

日本医科大学多摩永山病院 倫理委員会事務局

〒206-8512 東京都多摩市永山1丁目7-1

電話番号：042-371-2111（代表） 内線：2302

メールアドレス：nagayama-chiken_center@nms.ac.jp